

市町村名	金武町						
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1－① 家畜排泄物有効利用事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(7)－オ		
担当部署名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成 2 6 ～ 2 7 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	農林水産技術の開発と普及		
事業内容	「金武町バイオマスタウン構想」のさらなる推進を図るため、液肥を利用した、減化学肥料による環境循環型農業を目指して推進する。畜産農家と耕種農家との耕畜連携強化をするため、バキューム車を導入する。						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 (「交付金」＋「市町村負担」ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	34,500	27,251			
		(b) 予算現額	19,375	19,375			
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 15,125	▲ 7,876			
		(d) 繰越額	－	－			
		A. 計 (b+d)	19,375	19,375			
	B. 執行済額		19,200	19,375			
	うち交付金充当額		15,359	15,500			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率（％）(B/A)		99.1%	100.0%			
予算の状況の説明		バキューム車3台の購入を指名競争入札を実施し、予算を執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	バキューム車購入 3台	目 標	(3 台)	(3 台)	()	()	
		実 績	3 台	3 台			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	「金武町バイオマスタウン構想」を推進するため、平成27年6月に入札を行ってバキューム車3台を購入することで、家畜からでるふん尿を液肥として田畑で利用してもらうことによって、畜産農家と耕種農家への耕畜連携強化が図られた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	液肥利用	目 標	()	(9,276t/3台)	(2,319t/3台)	()	()
		実 績		8,099t/3台	1,958t/3台		
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	平成27年度の目標のうち、平成26年度に購入した3台の目標は9,276t、平成27年度に購入した3台の目標は2,319tとなっており、合わせて11,596tが目標となっていた。実績としては、平成26年度購入の3台は8,099t、平成27年度購入の3台は1,958tとなっており、合わせて10,057tが実績となった。液肥利用の周知を行ったあと農家からの申し出がまだまだ少なく、また天候に恵まれなかったため、目標値には至らなかった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	多くの農家に液肥を利用してもらうため、町の委託職員である農業アドバイザーの協力を得て、年間を通して現場で仕事をしている農家へ呼びかけを行い、申し出のあった農家へ散布の日程調整を行い事業を進めていたが、天候の悪い日が多かったり、農家からの申し出があまり伸びなかったりしたため、目標数値に至らなかった。	引き続き農業アドバイザーや新たにバキューム車運転手の協力を得て、年間を通して現場で仕事をしている農家へ液肥を利用することによってのメリットを説明し、液肥利用の目標数値が達成できるよう努めていく。
今後の取り組み方針		
町の広報や農政係の協力を得て、多くの農家へ液肥を使用することによって減化学肥料による安心・安全な作物になること等を説明し液肥活用の推進を図り、目標数値を達成し環境循環型農業の基盤が確立できるよう実施する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
19,375	19,375	15,500	3,875	0
金武町 19,375千円 備品購入費 19,375千円 → 沖縄いすゞ自動車株式会社 19,375千円 〔バキューム車3台購入〕				
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○沖縄県内において、金武町の希望するバキューム車を取り扱っている会社が3社であり、その3社で適正に入札を行いバキューム車3台を購入した。 ○見積書等を徴収し予算額を設定したので適正な規模となっている。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものだった。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	金武町						
平成２７年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1－② 金武町優良繁殖雌牛導入事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(7)－ア		
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成27～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備		
					Ⅲ－1－(6)		
事業内容	安定した素牛生産地の確立のため、優良繁殖雌牛の導入を支援する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（　）						
予算額・執行額 【単位：千円】 (「交付金」＋「市町村負担」ベース)		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,000				
		(b) 予算現額	5,787				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 213				
		(d) 繰越額	－				
		A. 計 (b+d)	5,787				
	B. 執行済額		5,788				
	うち交付金充当額		4,630				
	次年度繰越額		－				
	執行率（％）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初の計画通り予算を適正に執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	優良繁殖雌牛の導入支援	目 標	(優良繁殖雌牛の導入支援)	()	()	()	
		実 績	優良繁殖雌牛の導入支援実施				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	県内外の家畜セリ市場より優良繁殖雌牛の導入を実施し、当初目標通り達成できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	優良繁殖雌牛導入頭数	目 標	()	(12頭)	()	()	(100%)
		実 績		16頭			
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	成果目標の12頭を上回る16頭を導入することができた。今後も導入補助を行い、繁殖生産基盤の拡充、強化を図っていく。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	県内外からの優良繁殖雌牛を導入する際に、暑い時期に購入すると、遠く離れた場所からの輸送途中で熱中症による事故死が考えられる。	平成27年度に初めての事業導入を行っており、事務手続き等がスムーズに行えず、暑い時期に事業開始となってしまった。次年度からは早めに事業を開始し、雌牛の導入については事故死等を避けるため導入時期を考慮しながら行う。
今後の取り組み方針		
早めの事業開始に向けて円滑な事務手続きを行い、和牛改良組合、農業協同組合、関係機関と連携して優良繁殖雌牛を導入し、繁殖生産基盤の拡充、強化を図っていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12,509</td><td>5,788</td><td>4,630</td><td>1,158</td><td>6,721</td></tr> </tbody> </table> 金武町 5,788千円 補助金 5,788千円 → 沖縄県農業協同組合 JA貸付事業により貸付事業費12,509千円 補助金 5,788千円 〔 農家負担6,721千円 〕 優良繁殖雌牛1頭につき購入金額50%を補助 上限500千円					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	12,509	5,788	4,630	1,158	6,721
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
12,509	5,788	4,630	1,158	6,721										
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業主体は、本事業の交付対象要件を満たす団体であり、選定は妥当であると考えている。 ○事業実績や成果目標指数の達成状況を含め、適当な予算規模であったと考えている。 ○受益者の負担は適当な額を負担している。 ○費目、使途について、補助金交付要綱に基づいて確認した結果、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	金武町						
平成２７年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1－③ 特用林産物（ぶなしめじ）販売促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－（7）－イ		
担当部課名	産業振興課	事業実施（予定）年度	平成26～27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	流通・販売・加工対策の強化		
					Ⅲ－1－（6）		
事業内容	町内で年間275トン生産される「ぶなしめじ」の販売促進を行うため、冷蔵倉庫を整備し、林業の振興を図る。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	14,138	86,223			
		(b) 予算現額	14,138	86,223			
		(c) 増減額（b-a）	0	0			
		(d) 繰越額	－	－			
		A. 計（b+d）	14,138	86,223			
	B. 執行済額		14,026	79,727			
	うち交付金充当額		11,220	63,781			
	次年度繰越額		－	－			
	執行率（％）（B/A）		99.2%	92.5%			
予算の状況の説明		冷蔵倉庫の建設工事を指名競争入札し、予算を執行した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H27活動目標（指標）		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	冷蔵倉庫の建設	目 標	（ 冷蔵倉庫の建設 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	冷蔵倉庫の建設完了				
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績					
達成状況説明	製品発送までの約2週間分を保存する冷蔵倉庫の建設が完了し、林業の振興が図られることに期待できる。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H27成果目標（指標）		基準値（年度）	27年度	28年度	29年度	目標値（年度）
	冷蔵倉庫の建設完了	目 標	（ ）	冷蔵倉庫の建設完了	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		冷蔵倉庫の建設完了			
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績					
	進捗状況説明	予定通り冷蔵倉庫の建設工事が完了し、金武町の特産品「ぶなしめじ」の販路拡大に期待できる。					

取組の検証	町内で生産される「ぶなしめじ」は第3セクターである(株)きのこセンター金武にて生産・販売が行われており、現在、一時的に商品を保管する冷蔵倉庫が無く生産量を調整している状態である。	一時的に商品を保管する冷蔵倉庫は、那覇にある冷蔵倉庫を賃貸しており、賃借料にかかる費用が大きかったため、生産工場をフル稼働せず生産量を調整していたが、沖縄振興特別交付金を活用し冷蔵倉庫を建設することで、賃借料が削減でき生産量を調整せずにフル稼働し年間275トンを生産することができる。
	今後の取り組み方針	
平成28年度より冷蔵倉庫の賃貸契約を第3セクターである(株)きのこセンター金武と結び、生産品の安定供給と販売促進を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)															
		<table><tr><td>総事業費</td><td>交付対象 事業費</td><td>交付金 充当額</td><td>市町村 負担金</td><td>交付対象 外経費</td></tr><tr><td>79,727</td><td>79,727</td><td>63,781</td><td>15,946</td><td></td></tr></table>				総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	79,727	79,727	63,781	15,946	
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費											
79,727	79,727	63,781	15,946												
金武町 79,727千円		委託料 1,728千円	株式会社三杉設計 1,728千円 (冷蔵倉庫建設工事施工監理業務委託)												
		工事請負費 77,976千 円	有限会社金武土建 38,880千円 (冷蔵倉庫建設工事(建築))												
			株式会社アサヒプラント 39,096千円 (冷蔵倉庫建設工事(冷蔵設備))												
		役務費 23千円	沖縄県 23千円 (建築確認手数料)												
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○金武町建設工事競争入札参加資格審査委員会で決定した業者で指名競争入札を行い適正に予算を執行した。 ○工事費等を積算して予算化を行ったので適正な規模になっている。 ○建設工事終了後、検査で書類等を確認した結果、適正だった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。													
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。													
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。													

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
79,727	79,727	63,781	15,946	

市町村名	金武町						
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2－① 金武町雇用対策事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(10)－ア		
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成 2 5 ～ 2 9 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	雇用機会の創出・拡大と求職者支援 Ⅲ－2		
事業内容	ギンバル訓練場跡地利用の進出企業への雇用を促進するため、進出企業が町民を雇用した場合の研修費用等を支援する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 (「交付金」＋「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	10,000	10,587	13,228		
		(b) 予算現額	10,000	10,587	13,852		
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	624		
		(d) 繰越額	－	－	－		
		A. 計 (b+d)	10,000	10,587	13,852		
	B. 執行済額		5244	5,370	12,158		
	うち交付金充当額		4195	4,296	9,725		
	次年度繰越額		－	－	－		
	執行率（％）(B/A)		52.4%	50.7%	87.8%		
予算の状況の説明		・年度当初において計画していた採用目標人数の確保ができなかったことによる不用額である。 ・最終的に目標を上回る7名の雇用を実施し、また、継続雇用されているため、活動目標、成果目標は達成できたと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	進出企業等が採用した研修者OJT実施を支援	目 標	(5人)	(5人)	(5人)	()	
		実 績	5人	5人	7人		
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	・町民を雇用した企業に対し、研修費等の支援し、目標以上に事業を実施できたため、活動目標は達成できたと考えている。 ・ギンバル訓練場跡地利用に係る進出企業で採用した職員が必要な研修を受講することにより、業務に必要な知識、技術を身につけることができた。 ・実績の増加分について、当初予定では5名の採用計画であったが、年度途中で医療法人の新規開院に伴い予定より2名の増加があった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	平成27年研修者定着率(研修後の継続雇用)	目 標	()	(5人)	(5人)	(100%)	()
		実 績		5人	5人	100%	
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	・平成27年度において雇用した7名の町民については、当該事業において雇用を委託し、企業側が独自に継続雇用ができるように雇用研修を行ったことにより、平成28年度についても継続して雇用されているため、成果目標は達成できたと考えている。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	本町は、町土の面積の約60%を米軍基地に占められ、大規模な企業も立地しておらず、完全失業率が11.7%となっている。 このような状況のなか、平成23年度に返還されたギンバル訓練場跡地において、地域医療施設、ヘルスケアセンター、フィッティングセンター、海洋療法児童リハビリセンターの整備や、ホテル誘致を進め、新規雇用の創出を図っているところである。 そのため、ギンバル訓練場跡地への進出企業において、就業希望者の雇用を促進し、町民の雇用機会を拡大する必要があるため、町民を雇用した企業に対し、研修費等の支援をした。	・年度当初から計画どおりの雇用人数確保ができていないため、不用額が発生している。 ・求人方法については、ハローワークと併せて町内有線放送の活用等を行い、早期に採用者が確保ができるよう検討を行う。
今後の取り組み方針		
・今後も引き続きギンバル訓練場跡地への進出企業において、毎年5名の町民の雇用機会の創出を図るとともに、継続雇用に繋げていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象 事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr> <tr> <td>12,158</td><td>12,158</td><td>9,725</td><td>2,433</td><td>0</td></tr> </table> 金武町 12,158千円 委託料 12,158千円 医療法人 んぽるの杜 金武リハビリテーションクリニック 3,551千円 学校法人 智晴学園 6,837千円 医療法人社団 菱秀会 1,770千円 雇用対策業務委託 雇用対策業務委託 雇用対策業務委託					総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	12,158	12,158	9,725	2,433	0
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
12,158	12,158	9,725	2,433	0										
資金の 使途の 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ギンバル訓練場跡地への進出企業においての町民の新規雇用の創出を図ることが目的であるため、契約方法は地方自治法施行令第167条の2第1項第6号に基づき締結し、妥当と考える。 ○年度当初から人材確保が出来ず、不用額が発生したが、予算規模は適正と判断している。 ○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのかどうかを事業途中や事業完了の際に、その都度委託者との間で協議しており、適正であると判断している。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	金武町							
平成２７年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2－② 金武町就職活動支援補助事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(10)－ア		
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成27～31年度		沖縄振興基本方針該当箇所	雇用機会の創出・拡大と求職者支援		
事業内容	雇用の拡大を図るために就活支援センターを設置し、求職者への相談員による就業相談や、中小企業等に対する各種支援制度の案内、求人・求職等の情報提供を行う。 また、将来の就労予定者である児童生徒に勤労観・職業観と、学校をはじめとする地域全体との連携を図りながら、雇用問題の解決や就業意識の向上を実施するための、キャリア教育を行う。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	35,586					
		(b) 予算現額	24,456					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 11,130					
		(d) 繰越額	－					
		A. 計 (b+d)	24,456					
	B. 執行済額		22,778					
	うち交付金充当額		18,222					
	次年度繰越額		－					
	執行率（％）(B/A)		93.1%					
予算の状況の説明		主な減額理由として ・人件費について金武町就活支援センター設置場所の選定、事務推進員の4月採用予定が7月に延び、3ヶ月分の剰余となった。						
活動目標（指標） 及び達成状況	H27活動目標（指標）		達成状況					
			27年度	28年度	29年度	30年度		
	就活支援センター設置	目 標	(1箇所)	()	()	()		
		実 績	1箇所					
	キャリア教育	目 標	(1校)	()	()	()		
		実 績	2校					
	各種講座の開催	目 標	(1回)	()	()	()		
		実 績	7回					
	各種講話の実施	目 標	(1回)	()	()	()		
		実 績	1回					
達成状況説明	相談員による職業相談や各種講座の開催、中小企業等に対する企業セミナー等の実施、求人・求職等の情報提供と児童生徒へのキャリア教育を行い、且つ相談員の努力により目標値より大幅に達成することができた。							
成果目標（指標）	H26成果目標（指標）		基準値（年度）	27年度	28年度	29年度	目標値（31年度）	
	就業者目標数	目 標	()	(10名)	()	()	()	
		実 績		20名				

及び進捗状況	進捗状況説明	町民の雇用の場の確保、企業側と求職者の雇用のミスマッチの解消等により、雇用拡大の促進に繋がり、目標より大幅に達成することができた。
--------	--------	---

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	本町は、町土の約60%を米軍基地に占められ、大規模な企業も立地していない状況である。平成22年度国勢調査においては、完全失業率が11.7%となっている。このような状況のなか、平成26年度7月より金武町雇用対策事業検討委員会を設置し、町民の雇用拡大と人材育成を目的に雇用促進対策を行っているところである。 平成27年度より金武町就活支援センターを設置し、町民の雇用拡大とともに児童生徒等を含めた人材育成を行う必要がある。	開所記念シンポジウム、各種研修、キャリア教育等様々な事業を推進し、大きな実績となった。今後金武町就活支援センターの周知を徹底し、金武町就活支援センター利用率及び利用者の採用率の向上に努める。

今後の取り組み方針		
雇用の場の創出 ・町や関係機関の事業導入にあたっては、町民の雇用の場の創出に努める。また、関係機関や町内事業者などへの町民の優先雇用の促進を図る。 技能・資格取得の促進 ・就職に必要な資格取得のための各種講座を開催し、町民一人ひとりの技術や資格の取得を支援し、雇用機会の増大を図る。 相談窓口の充実 ・金武町就活支援センターにおいて、就職相談を実施し、求人情報の公開並びに職業斡旋を行うとともに、求職者と企業とのマッチングを図る求職者登録システムの構築や緊急的な失業者の雇用対策の連携など、相談窓口の充実を図る。 中長期的な雇用対策 ・町民一人ひとりの心豊かな生活の確保に向けて、キャリア教育や就労に必要な意識啓発、知識・技能を取得するための一貫した体制の構築と支援に努める。 ・ギンバル訓練場跡地周辺における新規事業機会の拡大や若者の雇用促進など、地域活性化の実現を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
---	--	--	--	--

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
		22,778	22,778	

金武町
22,778千円

補助金
22,778千円

金武町就活支援センター
22,778千円

資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助金等の適正化に関する条例及び団体補助金交付規則に基づき適正に支出した。 ○年度当初から人材確保ができず、不用額が発生したが、予算規模は適正と判断している。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのかどうかを事業途中や事業完了の際に、その都度運営者との間で協議し、適正であると判断している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	金武町						
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-① 小中学校学習等支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア		
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	学習支援員等による基礎学力の定着や学力向上、電子黒板等による情報化教育の推進に努める。 英語教育については、外国人英語指導助手・日本人英語指導員・英語コーディネーターを配置し外国語の音声や基本的な表現能力の育成として英語教育の充実を図る。						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	32,278	29,161	29,755	36,785	
		(b) 予算現額	31,013	27,553	29,755	34,422	
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,265	▲ 1,608	0	▲ 2,363	
		(d) 繰越額	—	—	—	—	
		A. 計 (b+d)	31,013	27,553	29,755	34,422	
	B. 執行済額		19,552	23,296	23,159	33,678	
	うち交付金充当額		15,641	18,636	18,527	26,942	
	次年度繰越額		—	—	—	—	
	執行率（％）(B/A)		63.0%	84.5%	77.8%	97.8%	
予算の状況の説明		・不用額については、外国人英語指導助手1名の雇用が5月に決定し、1ヶ月遅れての雇用となった。また、当初中学校への学習支援員の配置を4名計画していたが、教科指導(授業)を行うことができる学習支援員等非常勤講師が必要になった。そのため学習支援員は1名減となり、予算を減額し、変更後のとおり予算執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
				24年度	25年度	26年度	27年度
	学習支援員配置数	目標	(小学校7人 中学校8人)	(小学校7人 中学校6人)	(小学校 9人 中学校 4人)	(小学校:5人 中学校:3人)	
		実績	小学校5人 中学校5人	小学校5人 中学校5人	小学校6人 中学校4人	小学校:5人 中学校:3人	
	日本人英語指導員	目標	()	()	()	(小学校:2人)	
		実績				小学校:2人	
	外国人英語指導員	目標	()	()	()	(小学校:2人 中学校:1人)	
		実績				小学校:2人 中学校:1人	
	英語コーディネーター	目標	()	()	()	(教育委員会:1人)	
		実績				教育委員会:1人	
達成状況説明	町内小・中学校に8名の学習支援員を配置し、児童生徒の基礎学力に応じ、担任教諭及び教科担当教諭と連携を図りながら児童生徒の学習を支援することで、きめ細やかな学習指導を行うことができた。また、町内小中学校に日本人英語指導員、外国人英語指導助手、英語コーディネーターを配置し、外国語の音声や基本的な表現能力の育成として英語教育の充実を図ることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	全国学力調査の平均正答率について、全国平均を100とした場合、全国水準に近づけることを目標とする。	目標	()	(全国平均に近づける。)	()	()	()
		実績		小学校国語、中学校国語・数学において前年度より近づけることができた。			
	中学校全校生徒の英語検定3級以上	目標	()	(5.0%)	()	()	()
実績			3.5%				

進 捗 状 況 説 明	・全国学力・学習状況調査の平均正答率について、小学校国語B、算数B、中学校国語A・B、数学A・Bにおいて目標を達成することができた。小学校国語A、小学校算数Aにおいては目標値を達成することができなかったため、学習面における課題を再分析し、指導方法の工夫改善が必要である。今後も継続して学習支援員の役割を兼ねた特別支援教育支援員を配置し、児童生徒の学習意欲の向上や基礎学力の定着に繋げていく。 ・前年度比：小学校国語A：-2.3%、小学校国語B：14.9%UP、小学校算数A：-0.4%、小学校算数B：3.2%UP、中学校国語A：1.4%UP、中学校国語B：10.7%UP、中学校数学A：15.2%UP、中学校数学B：8.5%UP) ・日本人英語指導員、外国人英語指導助手、英語コーディネーターを配置し、学級担任や教科担任と連携して授業を充実させ、英語検定の合格率の向上にも繋げていく。
----------------------------	---

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・授業において理解できていない児童生徒には、学級担任の補習指導計画にそった補習指導を行い、個々の課題改善を図った。 ・学習支援員の配置については、活動目標である配置数を達成しているが、教員免許資格保持者を採用しているため、毎年人材の確保に苦慮している。	・授業において学級担任と学習支援員が連携して遅れのある児童生徒に指導をし、児童生徒一人ひとりにきめ細かな指導を行う。また、電子黒板等の活用(授業の効率化、集中力の向上)や補習学習、サマースクールを行い、学力向上に向けた取り組みを継続して実施する。 ・各学校等との連携を密にし、早期の人材確保を目指し、より良い人材確保に努めていく。
今後の取り組み方針		
・学習支援員の役割を兼ねた特別支援教育支援員を配置し、教育環境の充実を図ることで児童生徒の学習意欲の向上を目指し、基礎学力の定着に繋げていく。 ・人材確保については、今年度同様早い時期から募集をかけ、学校等との連携を図りより良い人材確保に努めていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
金武町 33,678千円 嘱託職員報酬 33,678千円 金武小学校 5名 〔 学習支援員 5名 〕 金武中学校 3名 〔 学習支援員 3名 〕 金武小学校 1名 中川小学校 1名 〔 日本人英語指導員 2名 〕 金武小学校 1名 嘉芸小学校 1名 金武中学校 1名 〔 外国人英語指導助手 3名 〕 教育委員会 1名 〔 英語コーディネーター 1名 〕				
		総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額
		33,678	33,678	26,942
				市町村 負担金
				6,736
				交付対象 外経費
				0
資金 使 途 の 流 れ ・ 費 目 ・ 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○出先、費目・使途については、金武町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例等に基づき支援員の任用、報酬の支出をしており、妥当なものと考えている。 ○予算規模については、ほぼ見込みどおりの執行額であり、事業内容に見合った適正な規模である。 ○費目、使途については目的に即し、必要なものであったと判断した。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	金武町						
平成２７年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	３－② 幼稚園預かり保育事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－(1)－ア		
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地域を大切にし、誇りに思う健全な青少年の育成		
	Ⅲ－3－(1)						
事業内容	子育て環境を改善するために、嘱託職員を配置し、預かり保育の充実を図る。						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 (「交付金」＋「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	5,976	5,806	5,767	6,008	
		(b) 予算現額	5,976	5,806	5,767	3,925	
		(c) 増減額 (b-a)		0	0	▲ 2,083	
		(d) 繰越額	－	－	－	－	
		A. 計 (b+d)	5,976	5,806	5,767	3,925	
	B. 執行済額		5,969	3,545	3,721	3,925	
	うち交付金充当額		3,216	2,835	2,977	3,140	
	次年度繰越額		－	－	－	－	
	執行率（％）(B/A)		99.9%	61.1%	64.5%	100.0%	
予算の状況の説明		預かり保育を利用する園児が当初予定していた人数を上回らなかったため、預かり保育嘱託員の配置が3名体制から2名体制となったため予算を減額し、変更後のとおり予算執行した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	預かり実施幼稚園	目 標	()	()	()	(1園)	
		実 績				1園	
	預かり保育支援員	目 標	(3人)	(3人)	(3人)	(2人)	
		実 績	3人	2人	2人	2人	
達成 状 況 説 明	預かり保育については、1クラス25名定員としており、利用者は51名（一時預かり2名含む）で2クラス編成となったため、同嘱託員を2名配置した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値 (年度)	25年度	26年度	27年度	目標値 (年度)
	子育て環境における満足度90%以上	目 標	()	(50名)	(100%)	(90%以上)	(100%)
		実 績		44名	100%	98.5%	
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進 捗 状 況 説 明	・預かり保育を希望する園児を100%受け入れすることができた。 ・預かり保育嘱託員の配置により、午前の園児の様子や活動内容を午後の預かり保育へつなぎ、一日の園児の様子を把握することで、一人ひとりの状況に応じた、よりきめ細やかな充実した預かり保育が実施できた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・保護者の就労支援を行う為、午後の教育活動として、預かり保育を実施した。 ・午前中から預かり保育嘱託員を配置することにより、午前の教育課程から午後の預かり保育へ園児の活動情報などを引き継ぐことができるようになった。 ・預かり保育嘱託員の配置については、幼稚園免許保持者を優先的に採用しているため、毎年人材の確保に苦慮している。 ・子ども子育て支援法の施行等、社会情勢の変化に対応すべく、今後も引き続き事業を実施していく。	・学級担任と連携を図りながら、園児の状況を把握し、午前の園活動、園児の状況等を十分に情報共有しながら、預かり保育を行う。 ・早期の人材確保に向け、各園の担任等と連携を図り、情報共有していくことが必要である。 ・任用時には、応募動機や経験等を確認し、預かり保育嘱託員としての職務を担えるような人材を採用する。
今後の取り組み方針		
・今後も継続して預かり保育嘱託員を配置し、午前の教育課程から午後の預かり保育へ、園児の一日の園活動、園児の状況等を引き継ぎ、きめ細やかな預かり保育を実施させる。 ・預かり保育嘱託員の人材確保については、今年度同様早い時期から募集をかけ、学校等との連携を図りより良い人材確保に努めていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>3,925</td><td>3,925</td><td>3,140</td><td>785</td><td>0</td></tr> </table> 金武町 3,925千円 嘱託員報酬 3,925千円 金武幼稚園 2名 〔 預かり保育嘱託員の報酬 〕					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	3,925	3,925	3,140	785	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
3,925	3,925	3,140	785	0										
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先、費目・使途については、金武町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例等に基づき、預かり保育嘱託員の任用、報酬の支出をしており、妥当なものと考えている。 ○予算規模においては、当初より1名少ない配置であったが、預かり保育を希望する園児数から鑑みて、事業内容に見合った適正な規模である。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	金武町						
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③ 特別支援教育支援事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ウ		
担当部課名	学校教育課	事業実施 (予定)年度	平成 2 4 ~ 3 3 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	時代に対応する魅力ある学校づくりの推進		
事業内容	発達障害等を持つ幼児・児童・生徒の教育については、ノーマライゼーションの理念に基づき、学習生活・学校生活等における困難を改善又は克服するために、適切な指導及び支援を行う。						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	8,743	27,331	30,042	32,044	
		(b) 予算現額	8,743	27,331	30,042	29,386	
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	▲ 2,658	
		(d) 繰越額	—	—	—	—	
		A. 計 (b+d)	8,743	27,331	30,042	29,386	
	B. 執行済額		7,229	24,218	29,822	28,927	
	うち交付金充当額		5,783	19,374	23,857	23,141	
	次年度繰越額		—	—	—	—	
	執行率（％）(B/A)		82.7%	88.6%	99.3%	98.4%	
予算の状況の説明		不用額については当初幼稚園へ特別支援教育支援員を2名配置する予定だったが、支援を必要とする対象園児が入園しなかったため、予定していた特別支援教育支援員1名の雇用がなかったことによる執行残が主なものである。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	特別支援教育支援員配置人数	目 標	(幼稚園4人 小学校10人 中学校1人)	(幼稚園4人 小学校10人 中学校1人)	(幼稚園2人 小学校10人 中学校3人)	(幼稚園1人 小学校11人 中学校3人)	
		実 績	幼稚園6人 小学校9人	幼稚園4人 小学校9人 中学校1人	幼稚園2人 小学校11人 中学校3人	幼稚園1人 小学校11人 中学校3人	
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
	達成状況説明	・町内幼稚園1園、小・中学校4校に15名の特別教育支援員を配置し、必要な支援を行った。					
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値 (年度)	27年度	28年度	29年度	目標値 (年度)
	・目標:学校評価における、特別支援教育に関する項目について、「支援を要する幼児児童生徒に対し、適切な支援が行われていると感じる評価3以上(4段階評価)」を目指す。	目 標	()	(3以上)	()	()	()
		実 績		3.4			
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	・支援を要する幼児・児童・生徒に対し、特別支援教育支援員を配置し、学校生活や学習上の困難を改善又は克服できるよう必要な支援を行うことで特別支援教育の充実を図っている。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・支援を要する幼児児童生徒は、年々増加傾向にあり、担任だけでは支援が難しい状況である。また、障がいを持つ幼児児童生徒の実態も多様化しており、知的障害、自閉症・情緒障害等、個々の障がいの状態に応じた支援が必要となってきている。	・支援を必要とする幼児児童生徒一人ひとりにあった支援体制を構築していくため、学級担任や養護教諭をはじめ専門的知識を持った特別支援教育推進員との連携を深め、適正な支援を行っていく。 ・特別支援教育に係る研修等を実施し、支援員のさらなる資質向上を図っていく。
今後の取り組み方針		
・支援を要する幼児児童生徒の実態が多様化していることなどから、幼児児童生徒に対する安全確保や学習の確保が求められており、学校等と連携しその実態把握を行い、適正な支援員配置を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>28,927</td><td>28,927</td><td>23,141</td><td>5,786</td><td>0</td></tr> </table> 金武町 28,927千円 報酬 28,927千円 金武幼稚園 1名 中川小学校 1名 金武小学校 6名 嘉芸小学校 4名 金武中学校 3名 特別支援教育支援員の報酬					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	28,927	28,927	23,141	5,786	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
28,927	28,927	23,141	5,786	0										
資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先、費目・使途については、金武町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例等に基づき支援員の任用、報酬の支出をしており、妥当なものと考えている。 ○予算規模においては、事業内容見合った適正な規模である。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものだった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	金武町						
平成２７年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	３－④ ICT教育備品整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－(4)－ア		
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成25～29年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進		
事業内容	児童・生徒への情報教育推進のためにIT教室へパソコンを導入し、各教室へ電子黒板等を整備することにより、情報教育による学力向上を推進する。						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 (「交付金」＋「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,556	21,864	23,637		
		(b) 予算現額	5,556	21,864	19,179		
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	▲ 4,458		
		(d) 繰越額	－	－	－		
	A. 計 (b+d)		5,556	21,864	19,179		
	B. 執行済額		3,854	20,316	19,179		
	うち交付金充当額		3,082	15,830	15,343		
	次年度繰越額		－	－	－		
	執行率（％）(B/A)		69.4%	92.9%	100.0%		
予算の状況の説明		・当初計画していたとおり事業を適正に実施できたと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	IT教室にパソコン31台及び教育用ソフトウェアを整備する。小学校1校:31台	目標	(小学校1校:12台 中学校1校:40)	(31台)	()	()	
		実績	小学校1校:12台 中学校1校:40台	31台			
	教室に電子黒板、電子黒板用パソコン及び書画カメラ各5台を整備する。小学校2校:電子黒板4台、パソコン4台、書画カメラ4台 中学校1校:電子黒板1台、パソコン1台、書画カメラ1台	目標	()	(電子黒板電子黒板用パソコン及び書画カメラ各5台)	()	()	
		実績		電子黒板電子黒板用パソコン及び書画カメラ各5台			
達成状況説明	予定していたIT備品の整備が実施できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	ICT教育備品を活用し、わかりやすい授業を展開することで、児童生徒の学習意欲を高め、学力の向上を目指す。学校評価における児童生徒の評価で、授業の楽しさや分かりやすさについての評価項目で「評価3以上」(4段階評価)	目標	()	(3%)	()	()	()
		実績		3.2			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	IT教室に児童生徒1人1台のパソコンを利用できるよう必要台数を整備することにより、個々の学習進度や得意不得意等に応じた学習を行うことができるなど、情報教育を推進するための環境整備が図られた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・1人1台のパソコンと合せて、授業において教員が各児童生徒の活動を把握したり、必要に応じて画面共有・転送ができるよう授業支援システム整備したことにより、授業展開がスムーズに行なえ、授業内容の充実につながった。 ・学習支援ソフトについて、必要に応じて追加整備も今後視野に入れる。	・学習支援ソフトの追加整備を行う際は、学習活動に必要な機能を備えているかなど、内容を十分精査する必要がある。
今後の取り組み方針		
今後学校に必要な備品については、金武町立学校ICT環境整備計画書に基づくとともに、学校と十分に協議してニーズに見合うものを整備していく。 ・平成28年度までにIT教室のパソコン整備率100% ・電子黒板において活用できるデジタル教科書を整備する		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19,494</td><td>19,179</td><td>15,343</td><td>3,836</td><td>315</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	19,494	19,179	15,343	3,836	315
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
19,494	19,179	15,343	3,836	315										
資金の流 使途の流 点検 点検 評価 評価 費目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
○	○	支出先の選定方法は妥当か。	○購入業者は、指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は、事業費の5%以内であり適正な規模であった。											
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、事業目的に即し必要なものであったと判断した。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	金武町							
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-⑤ 金武中学校・米国ハワイ州カポレイミドルスクール姉妹校交流事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-5-(4)-ア			
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成25～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進		
事業内容	国際的な視野を持つ、国際性豊かな人材育成を図るため、異文化での日常生活・学校生活の体験を通した本格的な英語の習得に向けて、海外姉妹校との交流を行う。							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,472			3,849		
		(b) 予算現額	4,472			2,804		
		(c) 増減額 (b-a)	0			▲ 1,045		
		(d) 繰越額	—			—		
		A. 計 (b+d)	4,472			2,804		
	B. 執行済額		3,486		2,804			
	うち交付金充当額		2,788		2,243			
	次年度繰越額		0		0			
	執行率（％）(B/A)		78.0%		100.0%			
予算の状況の説明		・当初派遣生徒10名を計画していたが、8名となり、計画を変更した。変更後は事業を適正に実施できた。						
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況					
				27年度	28年度	29年度	30年度	
	ハワイ州カポレイミドルスクール姉妹校交流プログラムを実施し、国際交流の推進を図る。 ・平成27年8月：金武中学校がカポレイミドルスクールを訪問。	目 標	(実施)	()	()	()	()	
		実 績	実施					
	・平成27年11月：カポレイミドルスクールが金武中学校を訪問。	目 標	(実施)	()	()	()	()	
		実 績	実施					
達成状況説明	当初計画していた姉妹校交流事業を実施し、人材育成が図られた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値	
	交流事業参加後、派遣生徒に対しアンケートを実施 「コミュニケーション能力がアップしたと思う」	目 標	()	(80%)	()	()	()	
		実 績		100%				
	「異文化に触れ、他国についてもこれまで以上に興味関心を持つようになったと思う」	目 標	()	(90%)	()	()	()	
		実 績		100%				
	進捗状況説明	・コミュニケーション能力、異国への興味関心ともに目標を達成することができた。異国での日常生活や学校生活の体験を通して今後も継続して国際交流事業を推進し、国際性豊かな人材育成を図る。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・姉妹校との相互訪問の期間について、相手校から交流期間の延長の要望があるが、受入のホストファミリーの負担になるため期間の延長が厳しい状況にある。	・訪問期間の延長については、受入するホストファミリーの負担増加にも繋がるため、ホストファミリーの意見を聞き取り課題を検討し、町内の宿泊施設等を活用した宿泊学習などを取り入れるなどして期間の延長の方法を検討していく。
今後の取り組み方針		
・期間を延長することにより、異文化での日常生活・学校生活の体験が増え、より充実した交流を図ることができる。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>2,958</td><td>2,804</td><td>2,243</td><td>561</td><td>154</td></tr> </table> 金武町 2,804千円 中学校教諭旅費 (航空賃、宿泊費等) 国際旅行社 (航空賃・宿泊費等) 677千円 交付対象外経費 154千円 金武中学校職員2名 交付金 (航空賃、車賃等) 2,127千円 国際旅行社 (航空賃) 金武中学校特別会計 (入場料・車賃・昼食代) 金武中学校生徒8名					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	2,958	2,804	2,243	561	154
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
2,958	2,804	2,243	561	154										
資金使途の流	評価	点検項目	評価に関する説明											
資金の流 点検 評価 ・	○	支出先の選定方法は妥当か。	○予算規模については、ほぼ見込みどおりの執行額であり、事業内容に見合った適正な規模である。 ○受益者との負担関係については、受益者も一定の負担をしていることから、妥当であると判断した。 ○費目、使途については目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	金武町									
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】										
事業番号・事業名	4-① 金武町青年海外派遣事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-4-(1)-ア			
							世界と共生する社会の形成			
担当部署名	企画課			事業実施(予定)年度	平成 2 4 ~ 3 3 年度		沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ-7	
事業内容	本町と海外移住国との友好親善関係及び人材育成の推進に資することを目的に、金武町の青年2人を南米に派遣する。									
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()									
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況				24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
			(a)当初予算額		1,967	1,980	1,453	1,469		
			(b)予算現額		1,967	1,980	1,469	1,555		
			(c)増減額(b-a)		0	0	16	86		
			(d)繰越額		-	-	-	-		
	A. 計(b+d)		1,967	1,980	1,469	1,555				
	B. 執行済額		1,967	1,454	1,469	1,555				
	うち交付金充当額		1,573	1,162	1,175	1,244				
	次年度繰越額		-	-	-	-				
	執行率(%) (B/A)		100.0%	73.4%	100.0%	100.0%				
予算の状況の説明		予定していた事業内容を全て執行することができた。								
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)			達成状況						
				24年度	25年度	26年度	27年度			
	派遣人数	目 標	(2人)	(2人)	(2人)	(2人)				
		実 績	2人	2人	2人	2人				
	帰国後報告会	目 標	()	()		(1回)				
		実 績				1回				
達成状況説明	ブラジル・アルゼンチン・ボリビア・ペルー・アメリカ(ロサンゼルス)の5ヶ国に青年2人を派遣し、海外移住国の町人会との交流を通じて移民の歴史を学び、異文化を体験することにより、友好親善関係及び人材育成の推進に資することができた。 金武町青年海外派遣事業報告会において、研修成果を報告する事ができた。									
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)			基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)		
	(研修生へのアンケート) 派遣後、移民史や移住国の沖縄人の生活に興味を持った。	目 標	()	(100%)	()	()	()			
		実 績		100%						
	(研修生へのアンケート) 派遣後、自分のコミュニケーション能力が高まったと思う。	目 標	()	(70%)	()	()	()			
		実 績		66.6%						
	(報告会参加者へのアンケート) 移民史や移住国の沖縄人の生活に興味を持った。	目 標	()	(70%)	()	()	()			
		実 績		83%						
	(報告会参加者へのアンケート) 当該事業に参加したいと思う。	目 標	()	(70%)	()	()	()			
		実 績		52.7%						
	進捗状況説明	金武町青年海外派遣事業研修生報告会において、研修生及び報告会参加者へのアンケートを実施し、事業の成果及び報告会参加者の意識調査を実施した。								

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	海外の移住国へ研修生を派遣し、国際感覚豊かな青年を育成するとともに、町と移住国との懸け橋となるよう移住国との交流を深める。 帰国後報告会を実施した。 研修生及び報告会参加者に対する意識調査結果で、コミュニケーション能力の向上、当該事業への参加に関する項目の目標が達成できなかったことから、派遣前の目標設定、研修報告等の内容が課題である。	海外の移住国へ研修生を派遣し、国際感覚豊かな青年を育成するとともに、町と移住国との懸け橋となるよう移住国との交流を深めることができたことから、継続して実施していく。 研修生のコミュニケーション能力の向上など、目標達成に向けた研修内容の設定や、当該研修への参加希望者が増えるような報告会が実施できるよう取り組みを強化する必要がある。
今後の取り組み方針		
海外移住者子弟と出前授業を実施し、事前交流の機会を増やす事で相互理解を深める。また、移住国における研修に関する情報交換を行う。 事業の達成度、理解度、知名度等の状況を把握し、より充実した事業実施のため、派遣した研修生及び研修報告会の参加者へのアンケート調査を実施する。 研修生のコミュニケーション能力の向上などの、研修へ参加する目的及び目標の達成に向けた研修内容の設定等について事前調整を行う。また、当該研修への参加希望者が増えるような、充実した報告会が実施できるように報告内容について検討を行う。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>1,995</td><td>1,555</td><td>1,244</td><td>311</td><td>440</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	1,995	1,555	1,244	311	440
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
1,995	1,555	1,244	311	440										
金武町 1,555千円 補助金 1,555千円 海外派遣青年A 777.8千円 (航空運賃、宿泊費等) (交付対象外経費) 219.7千円 海外派遣青年B 777.8千円 (航空運賃、宿泊費等) (交付対象外経費) 219.7千円														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○研修生選考については、面接を行い決定しており妥当であったと考えている。 ○予算規模については、研修生を5ヶ国に派遣し事業を実施するために適正な規模であったと考えている。 ○使途については、事業目的に即した必要な費用であったと判断し交付している。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	金武町						
平成２７年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	５－① 金武町防災情報システム整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(4)－イ		
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	平成25～27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化		
事業内容	大規模災害等の発生に備え、迅速かつ正確な情報を住民や観光客等に伝達するため、防災情報システムを整備することにより、災害に強く安全な町づくりを行う。						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 (「交付金」＋「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	159,531	206,604	86,073		
		(b) 予算現額	159,531	206,604	86,073		
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0		
		(d) 繰越額	－	－	－		
	A. 計 (b+d)		159,531	206,604	86,073		
	B. 執行済額		156,796	206,604	83,430		
	うち交付金充当額		125,436	165,283	66,744		
	次年度繰越額		－	－	－		
	執行率（％）(B/A)		98.3%	100.0%	96.9%		
予算の状況の説明		平成25年度にプロポーザル制度で業者を選定し、平成27年度は同業者随意契約を行い、事業を実施した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	ネットワーク整備 屋外拡声子局の整備	目 標	(19箇所)	(8箇所)	()	()	
		実 績	25箇所	9箇所			
	防災監視カメラの整備	目 標	()	(4基)	()	()	
		実 績		6基			
達成状況説明	平成27年度の目標どおり防災情報システム屋外拡声子局を9基整備した。 整備完了したことで、金武町全域における災害時等の情報伝達手段が確立し、安全安心なまちづくりに寄与した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	屋外拡声子局の整備率	目 標	()	(100%)	()	()	()
		実 績		100%			
	海外、河川、土砂災害危険区域等の監視体制強化	目 標	()	(実施)	()	()	()
		実 績		実施			
	進捗状況説明	・平成27年度(第3期)工事をもって町内全域におけるを整備が完了した。 ・防災情報システムを活用した避難訓練を実施し、目標以上の参加があり防災に対する意識向上が図れた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・本町では、緊急の情報伝達手段として有線放送電話が整備されているが、加入率が約50%であり、また、屋外への情報伝達手段が整備されていない状況である。 ・東日本大震災を踏まえ、どこにいても情報を受けることができる情報伝達手段の整備が課題となっている。	・平成27年度(第3期工事)で、未整備地区の整備を行い目標どおり完了できた。 - これで町内全域で情報伝達が行なえるシステム構築が完了した。 ・整備後の運用、防災担当者の育成に取り組み、自然災害や有事の際に住民及び観光等での来町者へ対し、効率的に情報伝達が行える体制の構築に取り組む。 ・消防、警察等の関係機関と連携体制を構築し、自然災害や有事の際の情報伝達及び避難等におけるシステムの有効活用を図る。
今後の取り組み方針		
・防災訓練等を実施し、同システムの運用訓練を行い、自然災害や有事の際に住民及び観光等での来町者へ対し、効率的に情報伝達が行える体制の構築に取り組む。 ・親局が設置されている各区事務所の担当職員と役場防災担当者等を対象に、運用・操作取扱説明会を行う。 ・各区で行われる町民との行政懇談会や金武広報を通じて、防災訓練の実施について広く町民へ周知し、防災意識の向上に努める。また各区や自主防災組織との連携・協力を図りながら、町民の意見等を取り入れた防災訓練を実施する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象 事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr> <tr> <td>83,430</td><td>83,430</td><td>66,744</td><td>16,686</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	83,430	83,430	66,744	16,686	0
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
83,430	83,430	66,744	16,686	0										
金武町 83,430千円 工事請負費 83,430千円 西日本電信電話株式会社沖縄支店 83,430千円 金武町防災情報システム 整備工事(第3期)														
資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○第1期工事(平成25年度)を発注する際にプロポーザルで業者選定し工事を発注、第2期工事、第3期工事も継続事業であり随意契約とした。 ○第2期工事、第3期工事単価等の大きな変動はなく、予算規模は適正であった。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については、工事設計書の積算根拠等確認、執行しており適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	金武町										
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】											
事業番号・事業名	6-① スポーツ施設機能高度化事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-2-(4)-イ				
担当部署名	金武町教育委員会 社会教育課		事業実施(予定)年度	平成27～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化				
事業内容	災害時避難所としての防災機能を強化するため、既存の屋根の上に新たに屋根を葺き、防災機能強化を図る。また、照明設備をLED化することで、スポーツ大会や合宿等の受け入れを促進する。										
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()										
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度				
	予算の状況	(a)当初予算額	3,327								
		(b)予算現額	2,592								
		(c)増減額(b-a)	▲ 735								
		(d)繰越額	—								
		A. 計(b+d)	2,592								
	B. 執行済額		2,592								
	うち交付金充当額		2,073								
	次年度繰越額		—								
	執行率(%) (B/A)		100.0%								
予算の状況の説明		予定していた事業を全て実施することが出来た。									
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)			達成状況							
				27年度	28年度	29年度	30年度				
	実施設計	目標	(実施設計)	()	()	()					
		実績	実施設計								
		目標	()	()	()	()					
		実績									
達成状況説明	施設機能高度化に向けた実施設計が完了した。										
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)			基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)			
	施設機能高度化に向けた実施設計の完了	目標	()	(実施設計)	()	()	()	()			
		実績		実施設計							
		目標	()	()	()	()	()	()			
		実績									
	進捗状況説明	施設機能高度化に向けた実施設計が完了したので、平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業を活用して工事を実施していく。									
推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)					改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)						

取組の検証	金武町立体育館は本町の災害時避難所として指定されているが、自然採光のために設置しているプラスチックパネルから雨漏りがあるなど、避難所としての機能を損ねている。また、雨漏りがあるため、スポーツ大会や合宿等の受入れが困難である。	雨漏りを防ぐことで、災害時避難所としての機能が向上されるとともに、スポーツ大会や合宿等の受入れが促進される。
-------	--	--

今後の取り組み方針
平成27年度において行った実施設計を、平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業を活用して工事を行う。自然採光のために設置しているプラスチックパネルから雨漏りがあるため、既存の屋根の上に新たに屋根を葺くことで防災機能の強化を図る。また、換気設備の整備を行うことで、施設の更なる機能高度化を目指す。

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
金武町 2,592千円 委託料 2,592千円 (有)オオシロインターナショナル 2,592千円		<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>2,592</td><td>2,592</td><td>2,073</td><td>519</td><td>0</td></tr> </table>			総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	2,592	2,592	2,073	519	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
2,592	2,592	2,073	519	0										
資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○設計業者は、指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○三者見積の最低額を予算額としたため、予算規模は適正であった。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものだった。											
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												